

「日本洋舞史年表」の発行にあたって

今、私たちは軽い驚きの念をもって芸術、文化の世界を見渡しています。日本発の文化がアジアや欧米で好意的に迎えられ、主流的なものとして認知されるようになったのは、ごく最近のことです。そして、その魅力が何によるものか、私たちは自分でもよくわかっていないように思えます。

明治維新から百年余の歳月、日本人は必死の思いで西欧の文化を学び、それがようやく自然に身につくようになった、ということもあるでしょう。また、その過程で日本独自の遺産を手放さず、新しい様式に注ぎ込む努力を続けてきたこともあると思います。

日本における洋舞の展開は、まさにこうした活動の集積です。西欧文化や日本の古典、そのどちらか一方だけではない、日本独特の世界を築き上げてきた先駆的な分野でもあります。そうした先人たちの歩みを振り返ることは、これからの日本文化の発展にも大きな意味を持つことと思います。

この6年間、日本洋舞史研究会の皆様研究成果を当情報センターから発行できたことは、大変意義深いことです。情報センターでの「日本洋舞史年表」の発行は今回が最後となりますが、これまで年表作成に尽力下さった研究会の皆様をはじめ、ご意見ご協力をいただいた皆様に深く感謝の意を表します。

新国立劇場情報センター